

【重要用語】

- ☐ さいぼう
細胞
- ☐ かく
核
- ☐ さいぼうしつ
細胞質
- ☐ さいぼうまく
細胞膜
- ☐ さいぼうへき
細胞壁
- ☐ ようりよくたい
葉緑体
- ☐ えきほう
液胞

- ☐ たさいぼうせいぶつ
多細胞生物
- ☐ たんさいぼうせいぶつ
単細胞生物
- ☐ さいぼうこきゅう
細胞呼吸

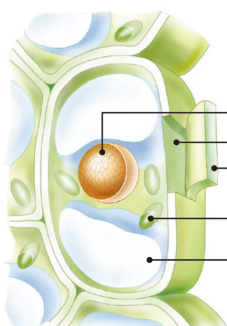
- ☐ きこう
気孔
- ☐ しかん
篩管
- ☐ どうかん
道管
- ☐ いかんそく
維管束
- ☐ こうこうせい
光合成

1章 生物の細胞と個体

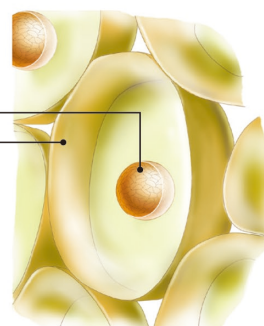
p.80～89

- ☐ 生物の体の基本単位。▶ p.83、86～87
- ☐ 細胞内の染色液によく染まるつくり。普通、一つの細胞に1個ある。▶ p.87
- ☐ 細胞内の核以外の部分。細胞膜も含まれる。▶ p.87
- ☐ 細胞質の最も外側にあるうすい膜。細胞内外の仕切りとなっている。▶ p.87
- ☐ 植物の細胞にある、細胞膜の外側の厚く丈夫な仕切り。▶ p.87
- ☐ 植物の細胞にある、緑色の粒。光合成が行われる場所である。▶ p.87
- ☐ 植物の細胞内で発達しているつくり。多様な物質が含まれる。▶ p.87

植物の細胞



動物の細胞



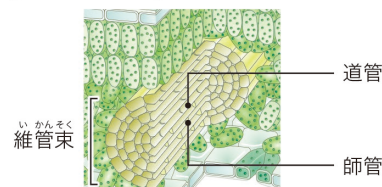
- ☐ 体が多数の細胞からできている生物。▶ p.88
- ☐ 体が1個の細胞からできている生物。▶ p.89
- ☐ 細胞が、外界から取り入れた酸素を使って吸収された栄養分を分解し、エネルギーを取り出すとともに、二酸化炭素や水を放出すること。▶ p.89

2章 植物の体のつくりとはたらき

p.90～113

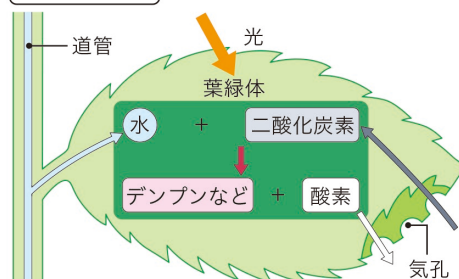
- ☐ 2個の孔辺細胞に囲まれた隙間。植物の体の水蒸気の出口であり、二酸化炭素や酸素の出入り口である。▶ p.94
- ☐ 葉でつくられた栄養分が通る管。▶ p.95

維管束のつくり



- ☐ 根から吸い上げられた水や養分が通る管。▶ p.95
- ☐ 篩管の束と道管の束をあわせたもの。▶ p.95

光合成の仕組み



- ☐ 光のエネルギーを利用して、二酸化炭素と水からデンプンなどの栄養分と酸素をつくる反応。▶ p.96、103

□ 蒸散 じょうさん

□ 植物の体から水が水蒸気となって出ていく現象。蒸散は主に葉の気孔を通して行われる。葉の気孔から蒸散が行われると、吸水が行われる。 ▶ p.106

□ 器官系 き かん けい

□ いくつかの器官が組み合わさり、協力して一つのはたらきを行うもの。消化系、呼吸系、循環系、排出系などに分類することができる。 ▶ p.115

□ 消化 しょう か

□ 炭水化物やタンパク質、脂肪などの栄養分を吸収されやすい小さな分子の栄養分に分解していくこと。 ▶ p.116

□ 消化酵素 しょう か こう ぞ

□ 消化液に含まれる、消化を行う物質。唾液中のアミラーゼや胃液中のペプシンなどがある。 ▶ p.121

□ 消化管 しょう か かん

□ 動物の体にある食物の通り道。ヒトの場合、口から始まり、食道、胃、小腸、大腸、肛門と続く1本の管になっている。 ▶ p.122

□ 呼吸器官 こ きゅう き かん

□ ヒトの肺のように、外呼吸を行う器官。肺の内部には、肺胞がある。 ▶ p.124

□ 動脈 どう みゃく

□ 心臓から送り出された血液が流れる血管。 ▶ p.127

□ 静脈 じょう みゃく

□ 心臓に戻ってくる血液が流れる血管。 ▶ p.127

□ 体循環 たい じゅん かん

□ 血液が心臓を出て大動脈や動脈、全身の毛細血管、静脈や大静脈を通して心臓に戻る血液の循環。

▶ p.128

□ 肺循環 はい じゅん かん

□ 血液が心臓を出て肺動脈、肺の毛細血管、肺静脈を通して心臓に戻る血液の循環。 ▶ p.128

□ 静脈血 じょう みゃく けつ

□ 二酸化炭素を多く取り込んでいる血液。 ▶ p.128

□ 動脈血 どう みゃく けつ

□ 酸素を多く取り込んでいる血液。 ▶ p.128

□ 赤血球 せつ けつ きゅう

□ 血液の固形の成分。酸素を運ぶはたらきがある。

▶ p.129

□ 白血球 はつ けつ きゅう

□ 血液の固形の成分。病原体を分解するはたらきがある。 ▶ p.129

□ 血小板 けつ しよう ばん

□ 血液の固形の成分。出血したときに血液を固めるはたらきがある。 ▶ p.129

□ 血しょう けつ

□ 血液の液体の成分。栄養分や不要な物質をとくして運ぶはたらきがある。

▶ p.129

□ 組織液 そ しき えき

□ 血しょうの一部が毛細血管からしみ出したもの。 ▶ p.129

□ 感覚器官 かん かく き かん

□ 刺激を受け取る器官。感覚細胞が多数集まっている。 ▶ p.134

□ 感覚神経 かん かく しん けい

□ 感覚器官からの刺激の信号が伝わる神経。 ▶ p.136

□ 運動神経 うん どう しん けい

□ 脳や脊髄から運動器官などの筋肉への命令の信号が伝わる神経。 ▶ p.136

□ 中枢神経 ちゅう ず しん けい

□ 脳と脊髄からなる神経。 ▶ p.136

□ 末しょう神経 まつ しん けい

□ 中枢神経から枝分かれして全身に広がる神経。 ▶ p.136

□ 反射 はん しゃ

□ 刺激に対して無意識に起こる反応。 ▶ p.138

